

みるみる！ ろいやるん！

所沢郷土かるた

小学校に通い始めた我が子が、おもむろにランドセルから取り出したプリント。そこで「所沢郷土かるた」なるものの紹介を目にしました。調べてみましたのでこの場をお借りしてご紹介します。「所沢郷土かるた」は、所沢市の歴史や文化自然をテーマにした楽しく学べるカルタです。地域の名所や伝統的な行事、特産物を題材にしており、家族や友人と遊びながら所沢の魅力を発見できます。地域とのつながりが深まることで、親近感や誇りが育まれます。子どもたちにとって、楽しく学べる方法は記憶にも思い出にも残りやすいと思います。内容も雑学的なものも多く、所沢市在住の方でも初めて知った！と思えるものが多いです。県外からお越しの患者様ご家族様へも所沢市の魅力をお伝え出来るかと思えます。お正月に家族で一緒に楽しみながら、所沢の魅力を再発見してみたいはいかがでしょうか。

(文/総務課 相馬)



写真は(<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyouiku/kosodate/kodomoikusei/tokokaruta.html>)より抜粋

お知らせ

感染対策強化月間を継続！

当面の間、感染対策強化月間を継続していきます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様、去年は良い一年でしたか？楽しかったこと、嬉しかった思い出を家族で語り合うことは大切だと、入院している方とご家族を見ていて思います。入院している方にとって、懐かしい思い出をご家族と語る時間はとても重要です。普段あまり話さない方も思い出話は饒舌になり幸せそうな顔をするのです。人はネガティブな感情の方が記憶に残りやすい(ネガティブバイアス)という感情の特徴があるそうです。そんなネガティブな感情を払拭できるのがご家族との関わりなのだと思います。面会時間の制限がある中ではありますが、ご家族との時間を穏やかに過ごせるよう今年も務めてまいりたいと思います。

(文/看護師 小西)



vol.77

令和7年
1月発行

所沢ロイヤル病院



病院理念

私たちは安全で良質な医療、
心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。



明け方の富士

～水面にうつる逆さ富士と東海道新幹線

当院の入院患者様からご提供いただいた写真。夜中に車を走らせて撮影に向かい、撮影されたそうです。お父様の影響で興味を持った写真撮影は「一番の楽しみ」と語られていました。



新年のご挨拶



((福))

新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年は巳年であります。巳年は古来から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新しい姿に生まれ変わるその姿が、その象徴となっています。

こうした意味から巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。当院もその時々地域のニーズにこたえる形で変革、再生してまいりました。

現在は地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟と3つの機能を構えています。

これにさらにチーム医療の充実を加えて、さらに地域に貢献する体制を整えていきたいと考えております。当院は開院以来一貫して療養型病院を標榜し、地域の皆様に信頼していただける病院を目指しています。これからも職員一同一致協力して地域に根差した、信頼される病院として貢献していく覚悟です。

本年も皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



院長
金子 正二

あけましておめでとうございます。

昨年は、1月1日の能登半島地震から始まりました。一年経過した今も、まだまだ心休まらずにお過ごしの方も多いかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

日本では、近年、自然災害が多く発生しています。その際の教訓をもとに、医療を提供している私たちが考え備えなければならないことが様々あります。当院では、昨年「災害対応力向上研修」を実施しました。そこからは、情報管理の大切さを学び、常日頃から備えることの重要性を学びました。このワムタウン所沢ゾーンには、病院だけではなく、老人保健施設や特養などの介護施設も多くあります。その中で、当院には病院機能を維持していくことが求められます。また、地域の医療機関との協力体制の構築も必要であり、課題でもあります。

過去の教訓を今につなげ、安心、安全な医療が提供し続けられるよう、地域を支える一助となる病院となるよう、そして何よりも働く職員が守れるように、努めたいと思います。

今年一年が、皆様にとって、平穏な一年となることを祈念し、新年の挨拶といたします。



看護部長
吉村 紀代

毎年恒例！紅葉狩りツアーにに行ってきました！

2階回復期リハビリテーション病棟は、11月の初旬、彩の森公園で毎年恒例の紅葉狩りツアーを行いました。この日は先日までの暑い日々が嘘のように気温が低かったのですが、患者様、スタッフ共々、上着やひざ掛けを携えて防寒対策をしっかりと行い、体調不良者を出すことなくツアーを行うことができました。スタッフや患者様同士、笑顔で談笑しつつ園内を散策し、普段の生活とは違う環境で病棟生活での疲れをリフレッシュすることができました。これからも、今回のツアーのような気分転換を行い、患者様、スタッフ共々、日々のリハビリを邁進していきたいと思いました。(文／2階病棟准看護師 小野)



肌寒くなり始めた11月初旬頃、患者様と一緒に彩の森公園にて紅葉ツアーを開催しました。普段からリハビリを頑張っている患者様のリフレッシュとなるように、2階病棟のスタッフと連携を取りながら安全な紅葉狩りに向けて準備を行いました。院内の屋外歩行とは違い、素敵な私服を身にまとった患者様たちは少し顔つきが違う様子で、リハビリ時よりも歩いていた印象を受けます。笑顔で紅葉を楽しんでいる様子を近くで見ることができ、私たちスタッフも楽しむことができました。紅葉ツアーへの参加が患者様にとって良い経験となることできていたら幸いです。

(文／作業療法士 設楽)



ロイヤル華道部始動！！

毎週、病院の入り口を飾る美しい花たち。1週間私たちを楽しませてくれる綺麗な花たちは1週間でその役目を終えていました。

リハビリテーション科ではそんなお花を再利用し、入院している患者様方に楽しんで頂くため患者様参加型の「ロイヤル華道部」を開始しました！

華道を嗜んでいた方、我流で行う方、他の患者様やスタッフに相談しながら行う方。毎回、それぞれ素敵な作品を完成させてくれるのでとても見応えがあります。

ただ楽しいだけではありません。ハサミで花を剪定する、花を仕分ける、丁寧に並べていくといった作業は頭の体操にも手のリハビリにも最適です！また、他の患者様方との交流の場にもなっています。辛いだけがリハビリじゃない！楽しいことがリハビリになるなんてとても素晴らしいですね！！

(文／作業療法士 小西)

